



．．．麻溝地区．．．

麻溝地区は、相模原ギオンスタジアム、相模原麻溝公園や県立相模原公園、相模川周辺など、緑豊かで史跡や景勝地も多く、自然を満喫できる地区です。また、圏央道の「相模原愛川インターチェンジ」の开通によって、都市基盤整備の進展が期待されています。

麻溝地区優秀賞



【撮影者】小林 博明

【タイトル】水しぶき

【撮影場所】相模原公園

【コメント】初夏の昼下がりに噴水の向こうに2人の子供がいました。水しぶきを止め水平方向からしぶきが重なるように撮ってみました。

○審査員寸評○

これは何？ちょっと驚かせてみることも写真表現のひとつのテクニックです。手前に噴水が出ていますが、その奥にいる二人の子供にピントを合わせ主題としています。従って手前の水滴をボカしたわけです。とてもおしゃれな表現です。作者の表現力に感心します。

みんなのいいね！賞

【撮影者】諏訪 一紀

【タイトル】秋高し

【撮影場所】相模原公園

【コメント】11月初旬の相模原公園は、澄み切った空に白い雲をたなびかせて輝いていた。





【撮影者】横山 毅明
【タイトル】ハナモモに包まれて
【撮影場所】相模原麻溝公園
【コメント】あさ散歩途中でみた赤とピンクのハナモモの花が緑の芝と空とが溶け込んで春ののんびりした空気を感じました。

【撮影者】境 みのる
【タイトル】初日の出
【撮影場所】相模原ギオンスタジアム
【コメント】毎年元旦には相模原ギオンスタジアムのメインスタンドが一般客に無料開放されます。今年も真っ赤な太陽が東の空を照らしました。スタンドでは手を合わせる人、スマホで撮影・送信する人などそれぞれに御来光を楽しんでいました。



【撮影者】境 みのる
【タイトル】森の宝石
【撮影場所】当麻山
【コメント】ここ当麻山は相模川の段丘崖の一端をなしており、樹木も大木が多く自然がたくさん残っています。この自然豊かな地に「森の宝石」と呼ばれているクサギの実があります。近辺を歩き回っていたらとても綺麗な「森の宝石」を見つけ撮影をしました。この素晴らしい自然がいつまでも残っていて欲しいと思いました。



【撮影者】諏訪 一紀
【タイトル】五月晴れ
【撮影場所】相模原公園
【コメント】五月晴れの空は、相模原公園の塔を称えるかのように虹が彩りを添えていた。



【撮影者】長谷川 重男
【タイトル】公園の朝
【撮影場所】南区麻溝台
【コメント】相模原公園は季節ごとの花々が人々の目を楽しませてくれ、憩いの場になっています。

【撮影者】石橋 昌之
【タイトル】やぎさん、ひつじさん お久しぶり
【撮影場所】麻溝公園 ふれあい動物園
【コメント】コロナで休園もやっと再開。多くのちびっこ連れの親子で賑わっていた。



「第10回 南区私のイチ押し写真」
応募作品発表



【撮影者】長田 利国
【タイトル】ナイス
【撮影場所】相模原市南区
麻溝台 県立相模原公園
【コメント】ポーズ

【撮影者】長田 利国
【タイトル】飛びたち
【撮影場所】相模原市南区麻溝台 県立相模原公園
【コメント】冬近し



【撮影者】内村 龍二
【タイトル】我町の初日の出
【撮影場所】自宅 近傍の道沿いより「グリーントワー」
を撮影
【コメント】中丸地区 ドッグラン近傍の道沿いから、
空地 越しに観られる 正月の太陽です。
残念ながら、現在 この空地では、家が建てられており、
今後 この道沿いからの「グリーントワーから昇る 初
日の出」を 拝む事は 出来なくなりそうです。





【撮影者】小林 博明

【タイトル】不思議な噴水

【撮影場所】相模原公園

【コメント】メタセコイアの黄色と青空の青で印象画の様な色合いとなっている噴水を少女がのぞき込んでいます。



【撮影者】西辻 豊

【タイトル】神奈川一絶景湖（かながわいちぜっけいこ）

【撮影場所】麻溝 相模原沈殿池

【コメント】2021年11月 空が青のグラジュエーションに輝いていたので、思わずカメラに収めました。どこかのリゾート地に旅行している気分になりました。



【撮影者】吉富 明徳

【タイトル】人工的であるが美しい三段の滝

【撮影場所】三段の滝 展望広場

【コメント】南区内で「滝」のつく名所といえば鳩川から相模川へ水を逃がす「分水路」が設けられ、段丘上からの放流の勢いを緩衝するため三段の段差で造られている「三段の滝」である。ゴーゴー流れ落ちる滝音、人工的であるがなんとも美しい滝である。「三段の滝」そのものも魅力たっぷりであるが、ここ「三段の滝展望広場」から母なる川「相模川」、丹沢大山山系の雄大な眺望の美しさも抜群である。





【撮影者】漆山 晃輔

【タイトル】薄暮

【撮影場所】相模原市南区下溝 八景の棚 見晴らし台

【コメント】夕暮れ時の相模川に冬の夕日に映え又大山の上空が紅に染まる光景を見てシャッターを切りました。

【撮影者】山口 光子

【タイトル】花菖蒲の微笑み

【撮影場所】市立麻溝公園

【コメント】市立麻溝公園の花菖蒲は手入れが大変良く行き届いています。

どの色の花を見ても生き生きとして微笑んでいるようです。

身近に菖蒲園があり、楽しむことができ本当に幸せです。

5回も見に行ってしまうました。



【撮影者】山口 光子

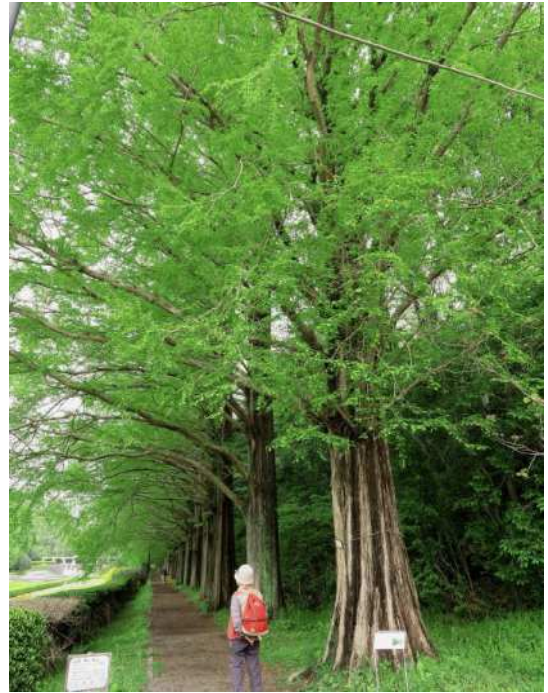
【タイトル】アグロステンマの丘

【撮影場所】県立相模原公園

【コメント】5月の相模原公園。美しい広々とした公園の中でも、今日はアグロステンマが満開でした。やさしい風にもゆれる花が広々とした芝生広場の入口で出向かえてくれました。



【撮影者】佐藤 康子
【タイトル】新緑のメタセコイア
【撮影場所】県立相模原公園
【コメント】写真教室で訪れた時、新緑の大きなメタセコイアと仲間の対比が印象的でシャッターを押しました。



【撮影者】鮎川 宜正
【タイトル】ワアーきれい！
【撮影場所】相模原公園せせらぎの園地区
【コメント】「ワアーきれい！」と子どもの声、声の方を見ると子ども達がスケッチの桜を見てか、空に広がる一面の桜を見てか、思わず写した一枚です。



【撮影者】鮎川 宜正
【タイトル】西日を浴びる「稲架(はさ)掛け」に「相模川段丘崖」
【撮影場所】相模原市南区当麻田んぼ地
【コメント】昔ながらの「稲架(はさ)掛け」、青空でのどかな田園風景を彩るこれらの伝統的な風景も、自然と共生する農業の豊かな営みを象徴する縮図のような気がします、共に西日を浴びている「河岸段丘 [相模川]」を背景に、残したい一枚として写しました。





【撮影者】Nolickers

【タイトル】南区から大山詣り〈2〉

【撮影場所】下溝（八景の棚）

【コメント】古淵からの大山も応募してありますが南区から大山が見れるスポットが豊富にある事を最近気づき、景観での大山詣りが出来る気がしたので普段は相模大野エリアからのみの写真を応募していますが、色々な場所で撮った中、選んだ結果ベタですが八景の棚からの大山と広い空を

【撮影者】伏木 良一

【タイトル】マイナスイオンがいっぱい!

【撮影場所】麻溝公園

【コメント】いつも見ている風景ですが、写真からマイナスイオンがいっぱいに感じられ、とても癒されます。



【撮影者】伏木 良一

【タイトル】ここは箱根?いいえ麻溝公園です。

【撮影場所】麻溝公園

【コメント】麻溝公園の裏側を撮ってみました。ここだけ見れば一瞬、箱根?とってしまうような一枚です。





【撮影者】本多 清光

【タイトル】春の訪れ

【撮影場所】麻溝地区” 県立公園・せせらぎの園地区” (旧フィッシングパーク)

【コメント】園内には道保川が流れており、その流れを生かした自然を大切にした公園で、早春の梅から桜・紫陽花・秋の紅葉へと四季折々、木や草花・鳥・魚など自然の鑑賞が出来る公園です。



【撮影者】本多 清光

【タイトル】鎌倉当麻宿の現在

【撮影場所】麻溝地区” 当麻宿”

【コメント】鎌倉時代の高僧一遍上人ゆかりの寺院として栄えた当麻山・無量光寺。現在は此の地に、圏央道の相模原・愛川インターが出来、物流や行楽の拠点として、無限の発展が期待されてる当麻宿である。



【撮影者】和泉 勝雄

【タイトル】いつ芽吹くの？

【撮影場所】南区下溝 3277 相模原公園

【コメント】月に1度ほど、草花の咲くのを楽しみに公園に行きます。4月というのに全然芽吹かない木。いつになったら芽吹くのか？また来ます。



「第10回 南区私のイチ押し写真」
応募作品発表



【撮影者】大原 宏麗

【タイトル】緑に囲まれ

【撮影場所】相模原公園

【コメント】相模原公園の2列 鬱蒼としたメタセコイアと隣の小道が大好きです。私は公園に行くたびに、そこで何枚か写真を撮ります。四季の変化に伴い、小道は異なる風貌を持っています。

【撮影者】大原 宏麗

【タイトル】思いよ届け！

【撮影場所】相模原公園

【コメント】相模原公園の花時計を通して見た夕陽は とても美しいでした。

また、この写真を見ると、いつも その濃い雲の重さと太陽が沈み行く切なさに包まれ、何とも言えない気持ちになります。

明日はきっといい日になると信じています。



【撮影者】羽角 由香

【タイトル】秋の訪れ

【撮影場所】相模原公園

【コメント】ふと下を見ると、松ぼっくりが落ちていた。自然光に照らされた松ぼっくりが地面というステージの上での主役に見えた。小さなものだが、それに焦点を当ててみると少し違う世界が見えるようだ。





【撮影者】長谷川 栄一

【タイトル】フィッシングパーク跡地の花見

【撮影場所】相模原公園フィッシングパーク跡地
(旧フィッシングパーク)

【コメント】フィッシングパーク跡地のさくらが満開なので花見に家族で行った時の風景です。見事に咲いているので感動しました。



【撮影者】名取 哲

【タイトル】蠟梅

【撮影場所】麻溝公園

【コメント】公園で蠟梅が見ごろを迎えていたが場所が分かりにくいのか人出が少ないためゆっくり撮影出来た。

また木が少ないので今後が楽しみです。

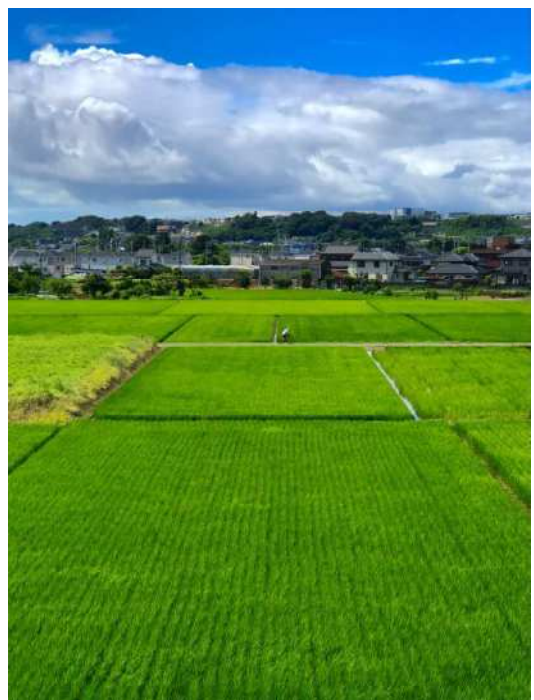


【撮影者】Sagamihara_Zine

【タイトル】夏の田んぼを歩く人

【撮影場所】南区当麻 県道 52 号から見える田んぼ

【コメント】夏空の下 緑の青田





【撮影者】Sagamihara_Zine

【タイトル】秋の田んぼを行く人

【撮影場所】南区当麻 県道 52 号から見える田んぼ

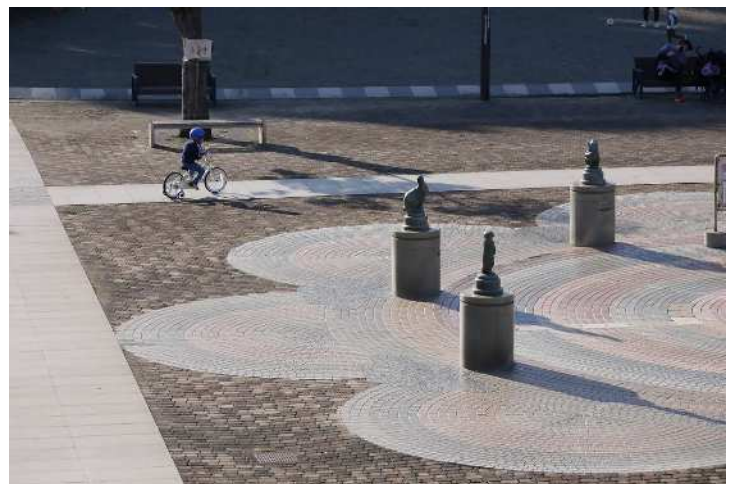
【コメント】稲刈り後 稲掛が並ぶ秋

【撮影者】古屋 明

【タイトル】幾何学模様と遊ぶ

【撮影場所】麻溝 相模原公園

【コメント】2021年11月 人通りの少ない公園の片隅で遅くまで自転車を練習する子どもの姿が愛らしくて撮った一枚です。



【撮影者】古屋 明

【タイトル】緩やかな坂道

【撮影場所】麻溝 相模原公園

【コメント】2021年11月 晩秋の陽だまりをゆっくりと走る車とのんびり散歩を楽しむ姿を捉えました。





【撮影者】山口 誠

【タイトル】クレマチスとグリーントワー

【撮影場所】市立相模原麻溝公園

【コメント】毎年、6月になると、園内にクレマチスが咲き誇ります。背景に公園のシンボルであるグリーントワーが入るベストポジションで撮影しました。



【撮影者】峰尾 昌子

【タイトル】艶やかに実る老爺柿

【撮影場所】相模原麻溝公園

【コメント】秋空に映えるこの艶やかな朱色に心奪われシャッターを押しました。



【撮影者】峰尾 昌子

【タイトル】晩秋の公園

【撮影場所】相模原麻溝公園

【コメント】枯葉が舞い散る広場と、背景の青空と紅葉に長閑さ感じて癒される瞬間でした。



「第10回 南区私のイチ押し写真」
応募作品発表



【撮影者】春木 紀子
【タイトル】緑溢れるころ
【撮影場所】県立相模原公園
【コメント】メタセコイア並木のこの時期は、何もかも新しく始まる気がして心踊る様な緑が大好きです。

【撮影者】春木 紀子
【タイトル】晩秋
【撮影場所】相模原麻溝公園
【コメント】木枯らしの残した木々の葉が、晴れ渡った秋空に色を添えて公園のシンボルタワーを引き立ててると感じてシャッターチャンスです。



【撮影者】庄下 昭久
【タイトル】晩秋の夕暮れ
【撮影場所】相模原公園
【コメント】12月に入っての晩秋の夕暮れ時光がさして来て、晩秋の夕暮れらしさが見られてその雰囲気表現出来たらと写真を撮りました



【撮影者】庄下 昭久

【タイトル】秋の夕日に照らされて

【撮影場所】相模原公園

【コメント】秋の夕方、公園の静かさの中に松の木と紅葉した大きな木が目に入り、松の緑と後の木の紅葉との取り合せが面白くて写真を撮りました。



【撮影者】ガサガサ

【タイトル】相模原で春を一番初めに実感できる
広場

【撮影場所】県立相模原公園（芝生広場 南東側）

【コメント】県立相模原公園にある早咲きの桜「玉縄桜」が咲きだすと、暖かい日が増え、芝生広場も賑やかになり、「春が来た(^^♪)」と実感できます。